

目標達成計画

作成日: 令和5年 11月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	
	1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、本人・家族等に(事業所の方針・事業所のできること・できないこと)十分に説明できていない。	入居早期から本人、家族等と重度化した場合や終末期の在り方について話し合いができる。職員間で個々の入居者が重度化した場合の終末期のあり方について方針を共有しチームで連携し支援することができる。	重度化した場合や終末期の在り方(看取りケア)について知識・技術の向上の為の研修を開催する。「看取りケア」でニューアルの改訂を行う。入居早期から本人・家族等に重篤化した場合や終末期の在り方について話し合いを行う。	12ヶ月
	2	20	(地域での新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い)入居者が、これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係支援が十分に行えていない。	新型コロナウイルス感染症等の感染予防を行いながら入居者が大切にしてこられた馴染みの人や場所との関係支援を図ることができる。	職員の感染予防対策の知識・技術向上の為の施設 内研修を開催する。職員及び入居者の感染予防対策を徹底する。感染予防対策を行いながら外出の機会を増やす。面会以外の方法で馴染みの人々と関わる方法(選択肢)を増やす。 電子介護支援記録(介護支援ソフト)の入力及び活用方法についての研修会を開催し基本的な技術を習得する。介護記録についての勉強会を開催する。	12ヶ月
	3	27	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫について個別記録(電子介護支援記録)への記入が不十分であり職員間で情報共有できていない。	タイムリーに正確な情報を個別記録(電子介護支援記録)に入力することができる。		12ヶ月
	4					ヶ月
	5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。